

2月に入り寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。“平成”も残すところあと3ヶ月となりました。4月1日には新しい元号が発表されるとのこと。新しい元号がどう名付けられるのか楽しみです。今月号は恒例となった“New Year Concert 2019”、そして第二回“初笑いコミセン寄席”の模様をお知らせします。

初笑い！ コミセン寄席

1月13日(日)昨年引き続き「初笑いコミセン寄席」が慶應義塾大学落語研究会を迎えて開催されました。二回目となる今回も会場は大入り満員、学生斬家さんの見事な話芸で“まくら”に笑い、“本文”に笑い、“おち”でまた笑い、会場は笑いで一杯、大いに盛り上がりしました。

“今古” (こんこ) こと 平林可鈴さん

演目「平林」

女好” (めこう) こと 鈴木健斗さん

演目「二番煎じ」

“空巢” (からす) こと 青木悠真さん

演目「たいこばら」

“つばき” こと 鈴木華叶さん

演目「ちいこちゃん」

New Year Concert 2019

1月20日 恒例の『New Year Concert 2019』が開かれました。会場の1階フリースペースは来場者で満員、おなじみの萩原正洋さん (バイオリン)、近藤伸子さん (ピアノ)、高村明子さん (ボーカル) による美しい演奏と歌声に耳を傾けていました。合唱コーナーでは“たき火”、“この道”を皆さんで合唱、アンコールのリクエストも入り、楽しい午後のひとときを満喫されていました。



萩原さん

高村さん

近藤さん

